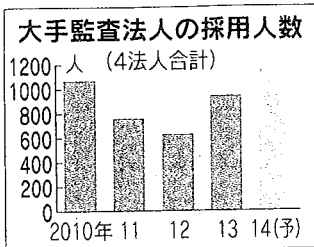


大手監査法人が会計士の新規採用を拡大する。新日本、トーマツ、あずさ、あらたの四大監査法人合計の2014年の採用人数は4年ぶりに1000人を上回る見通し。企業の新規株式公開が回復し、業務量が増えていることが背景にある。会計士試験の合格者数はさほど増えないとみられ、優秀な人材の争奪戦になるとの見方も出ている。

会計士の採用拡大

4大監査法人、来年

4年ぶり1000人超



割増える見通し。トーマツが350人程度を採用する計画を立てたほか、最大手の新日本も300人弱の採用を目指す。株

新規上場回復で業務増

高や景況感改善を受け今年の新規上場は60社弱と6年ぶりの水準に回復するもよう。大手監査法人はコンサルティングなどは周辺業務の拡大にも力を入れており担当する人材を確保する必要もある。

大手監査法人はリーマン・ショック後に新規上場企業が急減し、収益が悪化。07年までに大量採用した反動による人員調整の影響もあって、12年の採用人数は4法人計で600人強まで減少した。足元では相場回復を懸念する声も出ている。

にらみ、14年以降の上場を目指して準備を本格化するベンチャー企業が増えており、監査や上場支援の需要が増加。人手不足になっているという。

ただ会計士試験の合格者数は大幅な増加を見込めそうにないとの見方もあり、監査法人の間で優秀な人材を囲い込む動きも広がりそう。準大手の監査法人からは「採用を増やしたいが、大手が積極採用に動けば前年並み程度しか採れない」と懸念する声も出ている。